



ミクロネシア連邦訪問 2015年9月17日発9月25日帰国 第67次訪問団
紀行記 (3/3)

24日/ 8日目 トノアス島 エテン島 マーク島

ミクロネシア連邦訪問の最終日を迎えました。朝食は、ご存知の方はいらっしゃるでしょうが、“サイミン”です。野菜入りのサイミンです。それと果物プレートを注文して、ゆっくりとした食事です。



午前中は小雨模様ですが、予定通り、グラッドヒンさんが案内して島の周りを周遊します。桜井さんは、参加せず、部屋とホテル内で時間を過ごすこととなりました。



9:00にダイビングショップの波止場

を出て、トノアス島の周りを一周からです。日本時代の中心街や波止場、潜水艦基地、戦艦武蔵・大和が停泊した時に使用した係留ブイ、そして1985年代に作られた1万トン級の船が接岸できる



橋、等々を海から見学。エテン島（風力発電機の1号機設置場所）、秋島、冬島の側も通りつつ、バーベキューをしてから、

70年間沈黙を続けている英霊のチュークの海を走りホテルに帰還。この機会を作ってくれたMr. Gradvinに感謝。船が、棧橋に着くと配布用のコメの準備が出来たとの連絡。



支援米を前にして、改めて被災者への配布を頼み固い握手をし、再会を約す。

帰国です。ホテルから40分、あの凸凹道を空港に向って出発です。チェックインは、AMDメンバーのサポートもあり、スムーズに進みました。

搭乗開始案内のちょっと前から土砂降りの雨。離陸後は、かなりの揺れもありましたが、高度を上げての飛行に移った様で安定した飛行になり、一眠りした頃、グアムに到着です。



又また、グアムのイミグレーションでは、問題場面に遭遇です。 パスポート審査を待つ時、審査官2名で2ブースを担当しているようですが、2ボックスを1つとして、1から6くらいまでのグループ分けして審査処理していますが、特に3グループの23番審査官は、審査スピードが他の人より三分の一程度、しかもまだ大勢並んでいるのにさっさと閉めていなくなっていました。後に誰かが補充されるわけでもなし、全く論外の姿・場面でした。ツーリストたちも老若男女、子供達も居ましたが、文句の言えないのが、ツーリストではあります。

グアム泊となりました。

25日 8日目 早朝便で帰国へ

早寝（21：00）の早起き（04：30）の1泊でした。 グアムから成田への飛行機は、器材変更があり、小さい機種のB737となり少々窮屈なフライトとなりましたが、順調に無事成田着です。 お疲れ様でした。

終わりに・・・



この木は、蝸の木（日本の言い方）と言われるものです。



https://www.kagiken.co.jp/new/kojimachi/hana-takonoki_large.html

実は甘く、繊維質との事です。この木は、いろいろな用途に使われています。

一般名：タコノキ（蝸の木）

学名：Pandanus boninensis

別名：オガサワラタコノキ（小笠原蝸の木）、キアダン

果実は パイナップル と似た集合果ですが、果実の形はアダンとは異なります。実は集合果で黄色から橙色となり熟すと1片ずつ剥げてポロポロと落下します。実は食用油や観賞用、公園樹、防潮林などに用いられます。

以上